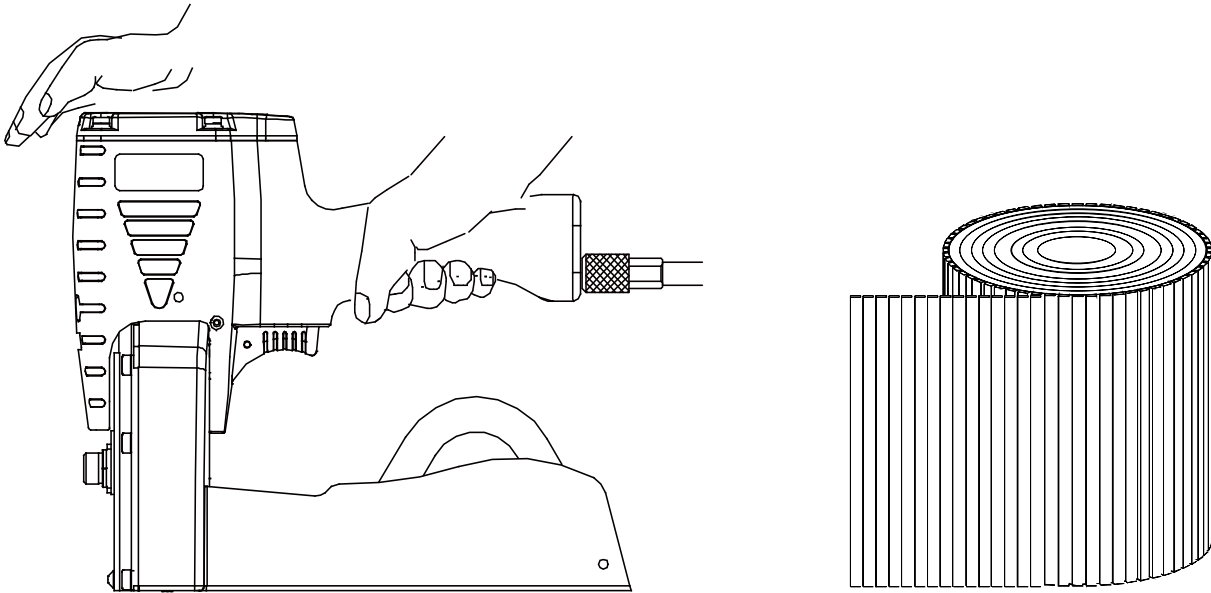
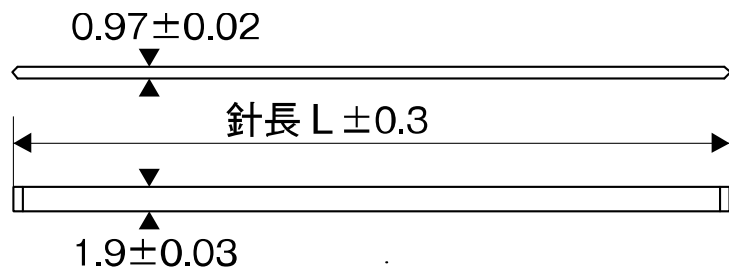


コイル封函機 TCX-18A 取扱説明書

本機のご使用前に取扱説明書を最後まで良く読み、正しく安全にお使いいただきますようお願い致します。本機の仕様は機能向上などの為、予告なしに変更する場合があります。



使用 ステープル	針長L(mm)
TX-18	65



⚠【危険】

本機はトリガを引くだけでステープルが発射します。ステープルを打つとき以外はトリガに触れないでください。誤ってステープルが発射すると重大な事故につながる危険があります。

⚠【警告】

本機は段ボールの綴じ込み作業を目的とした工具です。他用途に使用しないでください。射出口が詰まった状態でステープルを射出すると本機の損傷を招きます。正常に作動しなくなった場合は自分で修理せず販売店に修理を依頼ください。絶対に分解また改造をしないでください。

- この取扱説明書での ▲ 表示の意味は下記の通りです。

▲ 【危険】	誤った取扱いにより、使用者が死亡または重傷を負う危険が想定される内容の注意。
▲ 【警告】	誤った取扱いにより、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容の注意。
▲ 【注意】	操作に関する重要な注意。状況によっては重大事故に至る可能性がある内容の注意。

- 安全作業のための注意 ▲ 【危険】

1) 保護具

作業も周囲の人も必ず保護メガネを着用してください。打損じのステープルが跳ねて眼に入る危険があります。排気音や排気から耳を保護するため、耳栓などの防音保護具を着用してください。作業環境に応じてヘルメット、安全靴などの防具を着用してください。

2) エアコンプレッサ

本機はエアコンプレッサによる圧縮空気を動力源とする工具です。高圧ガス（酸素、アセチレン、プロパンなど）を使うと異常燃焼をおこし爆発事故の恐れがありますのでエアコンプレッサ以外は使用しないでください。本機の使用前後にはエアコンプレッサの空気タンクのドレン抜きを緩めて、内部に溜まった水や油を除去してください。本機の内部に水や油が溜まると錆発生などで故障原因となります。

3) エアホース接続前に

ステープルが装填されていない事を確認してください。ねじ類の緩みがない事、損傷／脱落／異常動作の部品がない事を確認してください。射出口が人や物に当たっていない事、人に向いていない事を確認してください。

4) エアホース接続後に

空気漏れ・異常音・作動音などが無い事を確認してください。エアホースを接続しただけで作動したり、エア漏れや異常音がある場合、そのまま使用すると事故の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

5) 作業前に

周囲に作業員以外（特に子供など）がいない事を確認してください。作業場所が、明るく、作業に応じて整理されている事を確認してください。無理な姿勢また後退しながらの作業は大変危険です。高所作業の場合、足場の安全が確保されている事を確認してください。本機やエアコンプレッサを揮発性可燃物（シンナー、ガソリンなど）のそばで使用するとステープル打込時の火花による引火や、空気と一緒に吸入圧縮され爆発の危険があります。揮発性可燃物のそばで絶対に使用しないでください。

6) 作業中に

トリガに指をかけたまま本機を持ち運びまた手渡しなどをしないでください。誤ってステープルが射出されると危険です。本機を移動させる時は必ずトリガから指を離し、場合によりエアホースも外してください。エアホースを掴んで本機を移動しないでください。

7) ステープルを打つときは

向い合わせでの作業は、打ち損じたステープルが向いの作業員に当り思わぬ事故を招きますので、絶対にしないでください。射出口を確実に対象物に当てないとステープルが跳ねたり逸れたりし、また本機が反発して体（特に顔に注意）に当たり危険です。射出口を確実に対象物に当ててください。落としたりして連結が切れたステープルを使用すると、ステープル送り不良により、空打ち、ステープル詰まりなどが発生する可能性がありますので使用しないでください。

8) ステープル詰まりを直すときは、エアホースを外し、ステープルを全部抜き取ってから作業してください。

9) 作業終了時には、エアホースを外し、マガジン内のステープルを全て抜き取ってください。

● 仕様

型式	TCX-18A					
外形寸法・重量	240mm×200mm×102mm（長さ×高さ×幅） 2.55Kg					
ステープル装填	1000本					
エアー継手	1/4" NPT					
使用エアホース	エアホースの内径はΦ6mm以上です。エアホース長さは30m以内のものを使用してください。エアホースが長いと圧力低下により打込み不十分となります。					
使用空気圧	最大許容圧力	0.75MPa (7.6Kgf/cm ²)				
	推奨使用圧力	0.5MPa ~ 0.7MPa (5.1~7.1Kgf/cm ²)				
⚠【警告】	空気圧は対象物により、上記範囲内で調節し使用してください。範囲を超えた圧力で使用すると本機の寿命を縮めたり、損傷によって事故を招く恐れがあります。					
使用オイル (タービン油) ⚠【注意】	給油の前にエアホースを外してください。1日に2回以上または作業前後にエアプラグの口から2~3滴給油してください。作業前の油は潤滑油となり、作業後の油はさび止めとなります。給油直後にエアを通すと、しばらくの間、油が排気口より噴霧状に飛び散るので油が飛んでも支障のない所で2~3本ステープルを打ってから作業してください。作業後に給油した場合、ステープルを1本打つと油が内部に行き渡ります。排気口から出た油は拭き取ってください。過剰の給油は本機に悪影響を及ぼす場合があります。指定外のオイルを使用すると、能力低下や故障の原因となります。界面活性剤などの添加物を入れないでください。					
騒音レベル	特性音圧レベル LpA	75.61 dB(A)				
	音響パワーレベル LwA	88.61 dB(A)				
	計測の不確か性	3dB				
⚠【注意】	法令や自治体条例の騒音規制値を超えないよう、遮音壁を設けるなど状況に応じた使用をお願いします。					
振動	手腕振動値	4.48m/s ²				
	計測の不確か性	1.5m/s ²				
⚠【注意】	使用状況により上記と異なる場合があります。実使用での測定に従い安全確保の上、使用してください。					
指定ステープル	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>使用ステープル</th> <th>針長L(mm)</th> </tr> <tr> <td>TX-18</td> <td>65</td> </tr> </table>  <p style="text-align: center;">0.97±0.02</p> <p style="text-align: center;">針長 L ±0.3</p> <p style="text-align: center;">1.9±0.03</p> <p style="text-align: center;">使用ステープルに応じた本機設定方法はP.8~9に記載しています。</p>		使用ステープル	針長L(mm)	TX-18	65
使用ステープル	針長L(mm)					
TX-18	65					
⚠【警告】	指定ステープル以外を使用すると故障や事故の原因となります。必ず指定ステープルを使用して下さい。					

● 部品表

部品番号	部品名称	数
JD0101	ボディ(シリンダー)	1
JD0202	ボディ(ボトム)	1
JD0301	シリンダーキャップ	1
JD0601	キャップシール	1
JD0801	ピストンロッド	1
JD0901	メインピストン	1
JD1001	バンパー	1
JD1101	ハンガー	1
JD1101W	トリガーバルブアッセンブリ	1
JD1201	フラットワッシャー(ステム)	1
JD1301	ステム	1
JD1401	トリガーバルブシート	1
JD1501	トリガーバルブシステム	1
JD1601	コンプレッションスプリング(ステム)	1
JD1701	コンプレッションスプリング (トリガーバルブ)	1
JD1801	トリガーバルブガイド	1
JD1902	トリガー	1
JD2201	アジャスティングホイール	1
JD2401	リンク(アンビル)	2
JD2502	アンビルホルダー	2
JD2601	スペーサー(アンビル)	2
JD2802	ペネトレーションエクセントリック	1
JD2901	ブッシング(エクセントリック)	1
JD3601	リテーナースクリュー	1
JD4001	フィクسدプレートセット	1
JD4302	マフラー	1
JD4401	ブッシング(アジャスティングホイール)	1
JD4801	フラットワッシャー(ピストン)	1
JD5101	フロントセクション	1
JD5201	アジャストサポート	1
JD5801	ディスタンスセット	1
JE1601	アンビルフック	2
JK0201	ドライバー	1
JK0301	カバープレート	1
JK0401	アンビル	1
JK0501	ブッシャー	1
JK0601	ブラケット	1
JK0701	シャフト(クリックレバー)	1
JK0801	コンプレッションスプリング(ブラケット)	1
JK0901	スペーサー(クリックレバー)	1
JK1101	クリックレバー	1
JK1201	デュエル	1
JK1301	ボトムワッシャー	1
JK3001	ガイドプレート(左)	1
JK3101	ガイドプレート(右)	1
JK1601	スプリング(押え板)	1

部品番号	部品名称	数
JK1701	フィクسدサポート	1
JK1801	シャフト(ステーブルカバー)	1
JK1901	ステーブルカバー	1
JK2001	アジャスタブルシート	1
JK2101	コンプレッションスプリング (ブッシャー)	2
JK2801	リアボディ	1
JK2901	ラバープレート	1
KF0412	平頭ボルトM4×12	2
KF0512	平頭ボルトM5×12	4
KM0308	六角穴付ボルトM3×8	4
KM0412	六角穴付ボルトM4×12	2
KM0412A	六角穴付ボルトM4×12	4
KM0414	六角穴付ボルトM4×14	4
KM0512	六角穴付ボルトM5×12	7
KM0618	六角穴付ボルトM6×18	2
KM0814	六角穴付ボルトM8×14	1
KP3050	平行ピンΦ3×50	1
KP4008	平行ピンΦ4×8	2
KP4013	平行ピンΦ4×13	4
KP4016	平行ピンΦ4×16	2
KQ4022	スプリングピンΦ4×22	3
KR0410	ボタンヘッドボルトM4×10	2
KS3008	スプリングピンΦ3×8	4
KS4018	スプリングピンΦ4×18	1
OA006A	Oリング ARP568-006	1
OA110A	Oリング ARP568-110	1
OA132A	Oリング ARP568-132	1
OB052A	Oリング 5×1.5	1
OB073A	Oリング 7×2.5	2
OB074A	Oリング 7×1.5	1
OB082A	Oリング 8×1.5	1
OB161A	Oリング 16×1.5	1
OP040A	Oリング P40	1
OS015A	Oリング S-15	1
OS016A	Oリング S-16	1
OS018A	Oリング S-18	1
YC1601	Cリング Φ16	1
YC2101	Cリング Φ21	1
YE3001	Eリング Φ3.0	2
YG0401	スプリングワッシャー Φ4	4
YG0601	スプリングワッシャー Φ6	2
YG0801	スプリングワッシャー Φ8	1
YN0812	六角ナット M8×1.25	1
YW0402	フラットワッシャーΦ4	1
YW1003	フラットワッシャーΦ10	1
A00001	エアプラグ20PM	1

● 使用方法

本機とエアコンプレッサを接続する前に、使い方を覚えてください。

1) ステープルを装填する

①本機には安全装置が装備されておりません。トリガーを引くだけでステープルが発射します。思わぬ事故を防ぐ為、ステープル装填前には必ずエアホースを外して下さい。

②カバーをたわませてフックから外し、③カバーを開いて下さい。

④ステープルのコイルをリアボディ中に入れて下さい。（コイルの先端を下側にします）

⑤ステープルの先端をガイドプレートの下へ差し込んで下さい。

⑥カバーを閉じて、フックに引っ掛けて下さい。

2) エアホースを接続する。

⑦エアホース接続時、誤ってトリガーに触れないよう、しっかりと本機を保持して下さい。

3) ステープルを打つ。

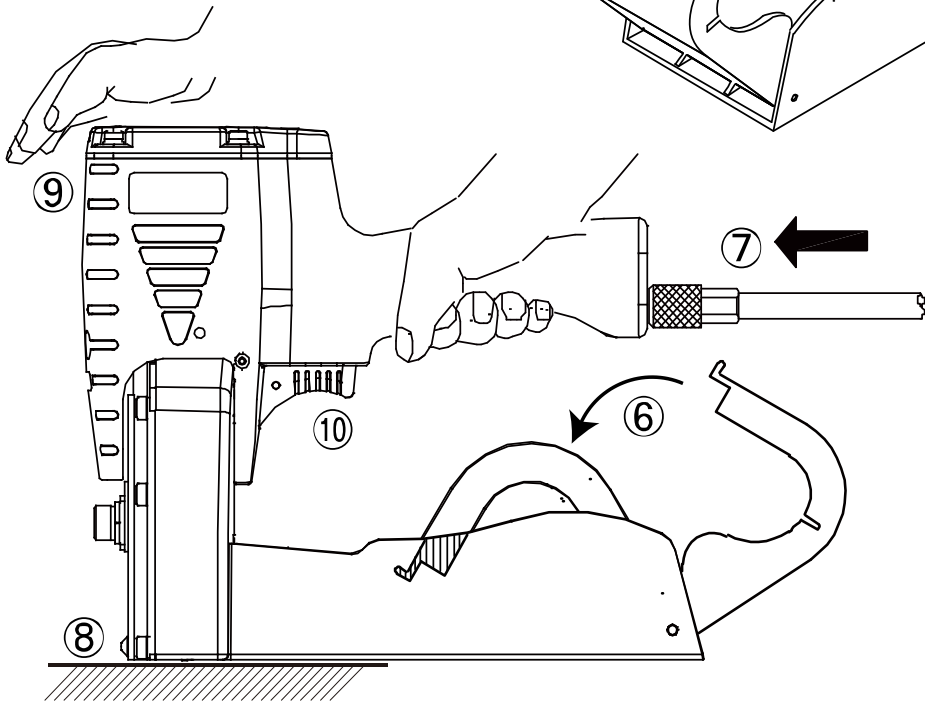
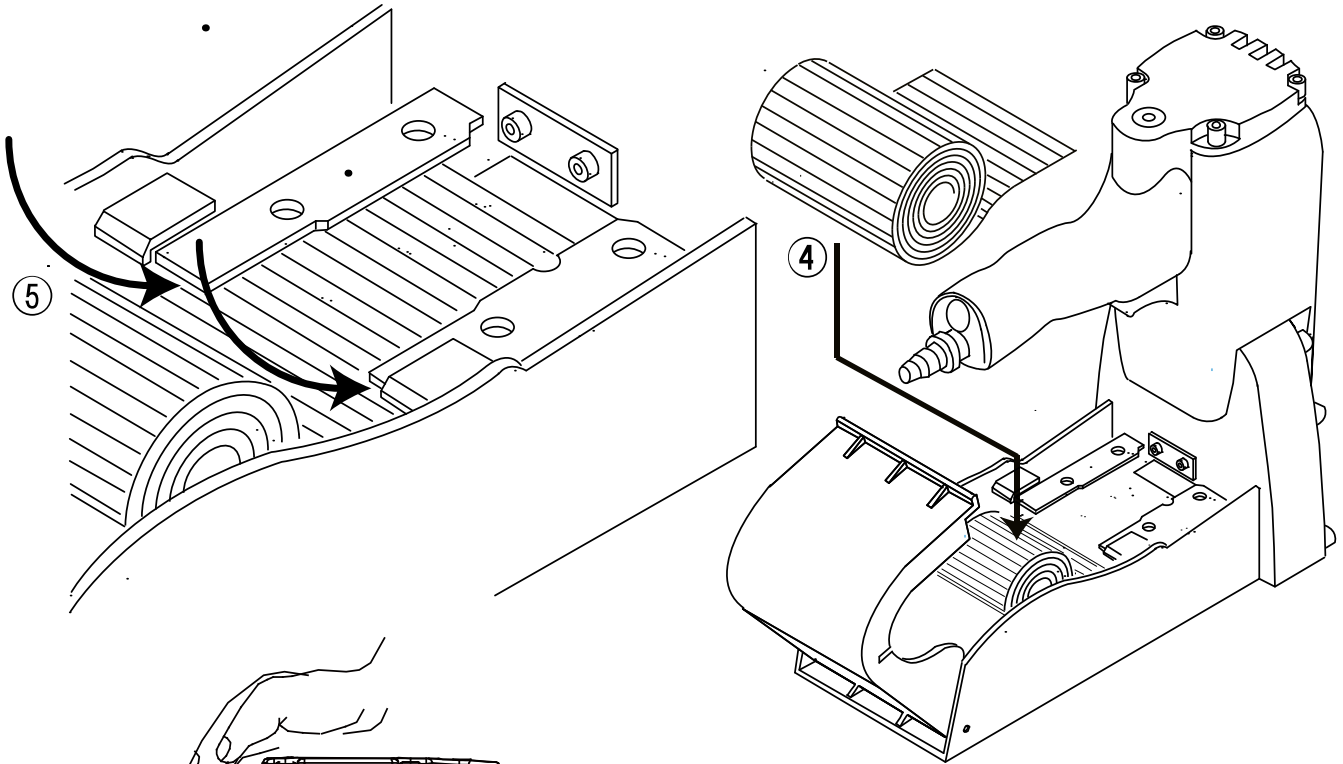
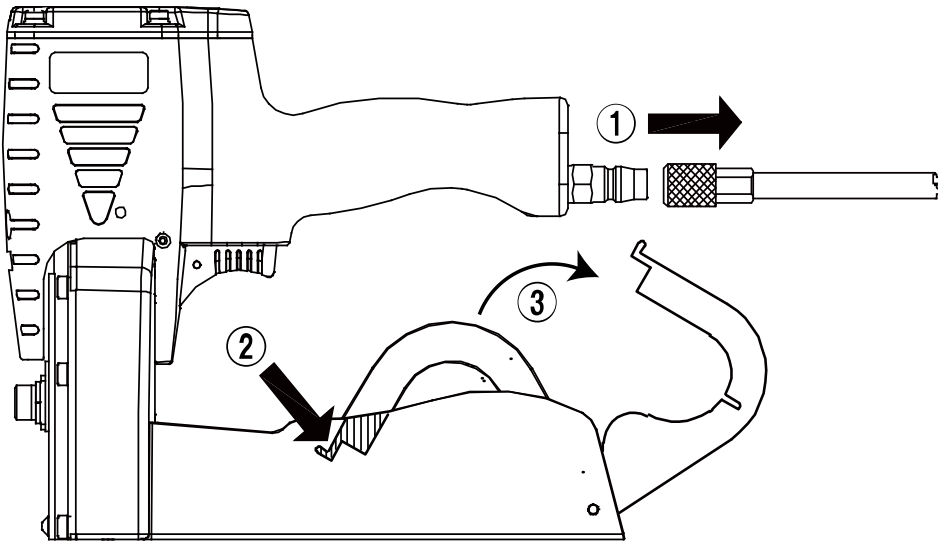
⑧射出口を対象物に当てて、⑨封函機の上部をしっかりと保持し、⑩トリガーを引いて下さい。

射出口を確実に対象物に当てないとステープルが跳ねたり逸れたりし、また本機が反発して体（特に顔に注意）に当たり危険です。射出口を確実に対象物に当てて下さい。

※ ⑩トリガーを引いている間、アンビルが出ます。打ち込みを完了させるには⑩トリガーを戻して下さい。

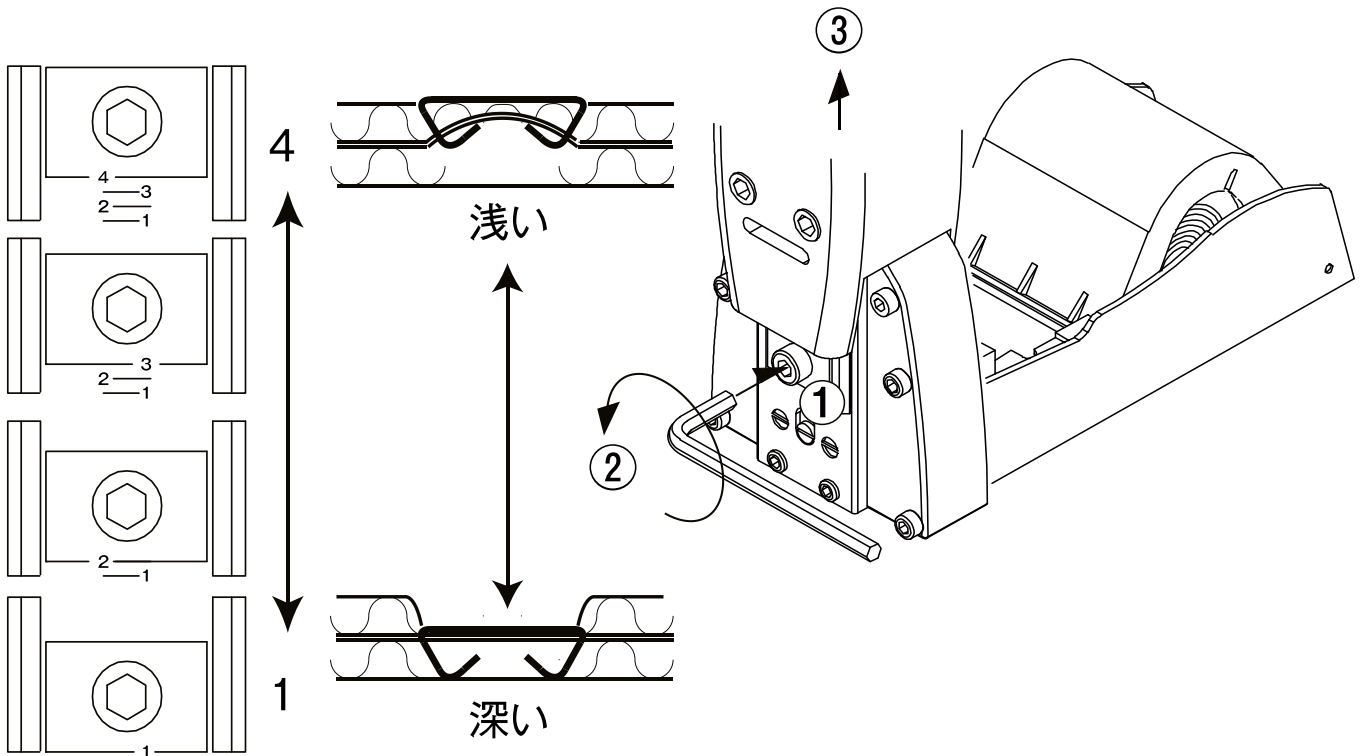
● 保守

取り付けねじなど、嵌合が緩んでいる箇所が無いが定期的に点検し、緩んでいる場合は締め直して下さい。マガジンをときどき掃除し、ステープル接着剤のカス、異物、紙くずなどを取り除いて下さい。1日に2回以上または作業前後にエアプラグの口から2～3滴給油して下さい。長期間使用しない時は、注油、清掃し、湿気や埃の影響を受けない状態で保管して下さい。お子様や、作業員以外の方がさわらないよう、場合により施錠などの処置をして下さい。



● 綴じ込み深さの調整方法

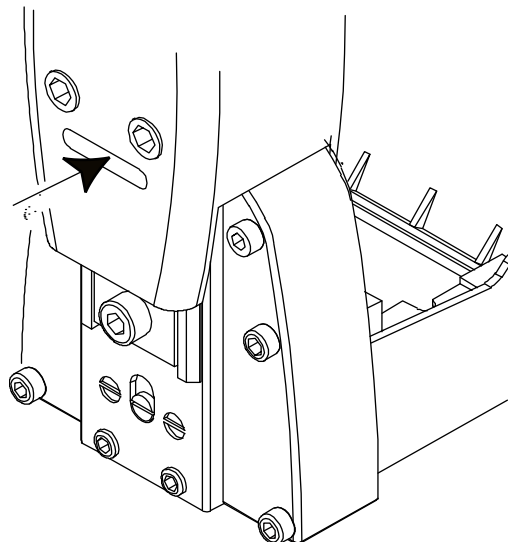
- 1) ①ボルトをΦ6mm六角レンチで②の方向に回して、ロックを緩めて下さい。
- 2) ③方向にヘッド部を移動させることで、綴じ込み深さが調整できます。目安として、①ボルトの下に、1～4までの刻印があります。4側が浅い綴じ込み、1側が深い綴じ込みとなります。
- 3) 調整が終了したら、②と逆方向にレンチを回し、ロックを締めて下さい。



● クリンチ強度の調整

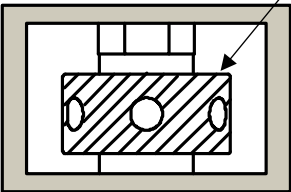
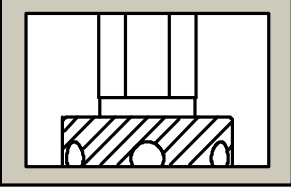
クリンチ強度は、ボディ内部のアジャスティングホイールを回す事で調整できます。事故防止の為、作業前にエアホースを外して下さい。

- 1) ボディ前面の窓から内部を覗き、アジャスティングホイール位置を確認して下さい。

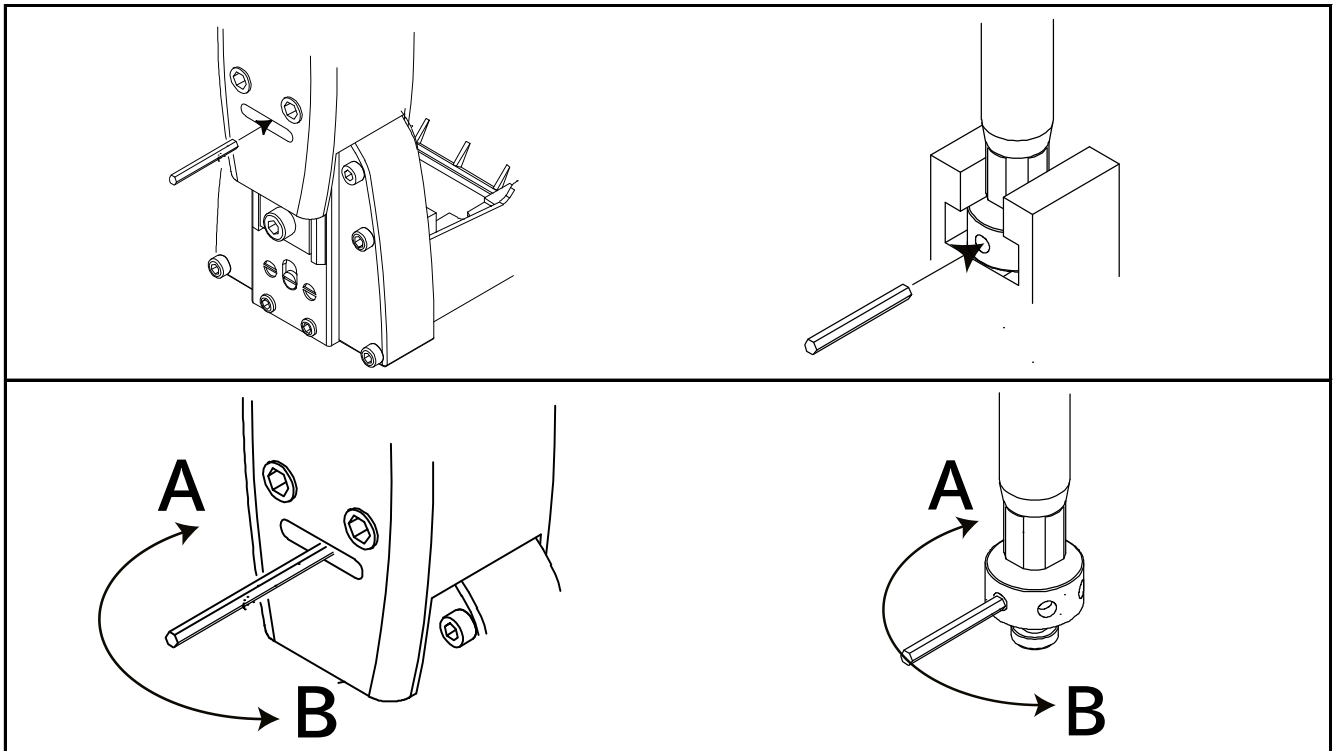


【アジャスティングホイール位置確認】

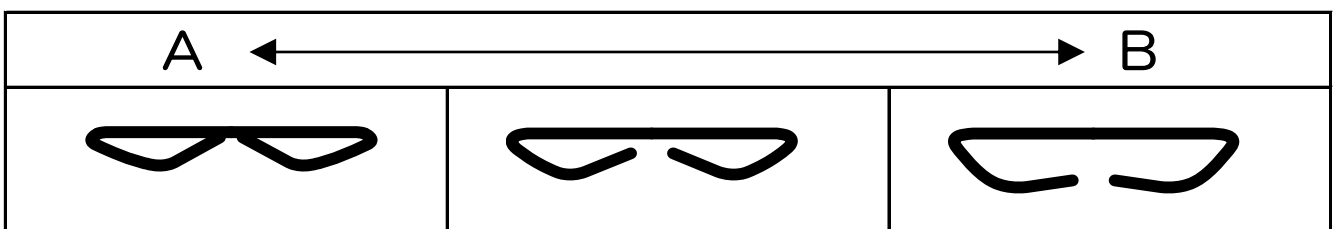
アジャスティングホイール

	<p>【正規位置】 アジャスティングホイールが完全に見えている ：正規の位置にありますので、2)作業を行なって下さい。</p>
	<p>【非正規位置】 アジャスティングホイールの穴（Φ2.6mm）が隠れている ：エアホースを接続し空打ちすると正規位置に戻ります。 事故防止の為、2)の作業前にエアホースを外して下さい。</p>

2) ボディ前面の窓からΦ2.5mm六角レンチ（または同等の棒）を入れ、アジャスティングホイールの穴（Φ2.6mm）に差し込んで、下図AまたはBの方向に回して下さい。



A方向へ回すとクリンチが強く、B方向へ回すとクリンチが弱くなります。



3) エアホースを接続し、空打ち（又は実射）でクリンチの状態を確認して下さい。
必要に応じて2)の作業で調整して下さい。

（事故防止の為、2)の作業前にはエアホースを外して下さい。）

株式会社立川ピン製作所 拠点

本社 三重工場	〒518-1151 三重県伊賀市白檜3279-1 TEL 0595-20-1124 (代) FAX 0595-20-1752
大阪営業所	〒540-0029 大阪府大阪市中央区本町橋8-16 TEL 06-6942-1241 (代) FAX 06-6947-1737
東京営業所	〒130-0012 東京都墨田区太平4-6-17 TEL 03-5608-2100 (代) FAX 03-5608-2101
名古屋営業所	〒460-0022 愛知県名古屋市中区金山3丁目11番16号 松本ビル1階 TEL 052-684-4175 FAX 052-684-4176
福岡営業所	〒812-0014 福岡県福岡市博多区比恵町10-15-101 TEL 092-433-2101 (代) FAX 092-433-2102
ホームページ	https://tachikawa-net.jp